

つなみについて知ろう

海のそこ（海底）で地しんがおきると、大きななみが、もうスピードでりく地をおそう「つなみ」がおきることがあります。「つなみ」について学習しましょう。



東北地方太平洋沖地震でおきたつなみ

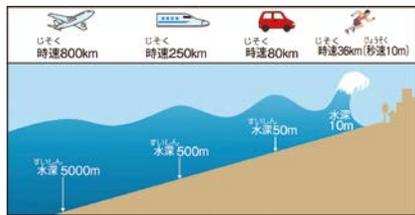
1 おそろしいつなみ

つなみは、とてもはやく、大人が走ってにげても、おいつかれてしまうほどです。また、つなみはとても強い力をもっていて、高さ10cmのつなみでも足を取られてしまうと言われています。東北地方太平洋沖地震で発生したつなみは、家をおしながしたり、ビルをたおしたりするほどでした。そして、多くのおおの人のいのちがうばわれました。



つなみでたおされたたてもの（女川町）

東北地方太平洋沖地震では人びとが考えていたよりもはるかに高いつなみが仙台市をおそいました。仙台市の荒浜では、高さ10mをこえるつなみがおそってきたと言われています。



つなみのはやさと高さのちがい（気象庁HP）

（つなみは、もうスピードでやってきます。りく地に近づくほど、なみは高くなります。）

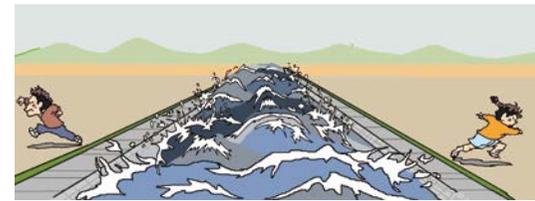
2 つなみからにげる～早く、高いところへ～

つなみは、早いところでは地しんがおきた後、数分でやってくる。海の近くで地しんにあつたら、かならず次のことをまもりましょう。

- ① 少しでも早く海から遠いところへにげる。
- ② より高いところへひなんする。
- ③ つなみは何度もやってくるので、その後もぜったい海に近づかない。
- ④ 川のそばにいるときは、川からはなれる方向にすばやくにげる。



つなみからにげるために、屋上へ上がる人びと



川のそばにいるときのにげ方

つなみのきけんやひなん場所をしめすひょうしき



つなみちゅうい



つなみひなん場所



つなみひなんビル

海の近くに行ったときは、このようなひょうしきがないか、たしかめておきましょう。正しいひなんで自分のいのちがまもられます。